

長崎県水産業振興基本計画

令和3年度～7年度

第2章

前計画の成果検証

第2章

前計画の成果検証

指標の動向（進捗状況）：「達成」「順調」「やや遅れ」「遅れ」「－（数値目標設定なし）」の5項目で評価

「達成」……………最終年度の目標値を達成した。

（累計ベースの目標を設定していて、実績が極めて好調な場合や、目標の最終年度が既に到来した場合など）

「順調」……………令和元年度又は平成30年度以前の目標値を達成した。

「やや遅れ」………令和元年度又は平成30年度以前の目標値は達成できなかったが、基準値からの改善はみられる。

「遅れ」……………令和元年度又は平成30年度以前の目標値を達成できず、基準値の数値と比べても改善がみられない。

（実績が基準値から下回っている、または元年度目標値に対する実績値が70%未満の場合）

進捗状況の%について

I 基本：(実績値) / (目標値)

II 累計ベースの数値目標：基準値からの伸び率を示すものは、(実績値－基準値) / (目標値－基準値) により算出

基本指標の(2)－②、(3)－⑥、(4)－②、(4)－③はIIで算出

達成の見込み

「○」：達成した又は達成の見込み

「△」：達成が厳しい見込み

- ・基本指標6項目中2項目、関連指標20項目中17項目は、それぞれ達成の見込みです。
- ・環境や水産資源の変動により漁業生産量、生産額ともに目標達成は困難な状況にあり、また、就業者も60歳以上の高齢漁業者の減少が非常に大きく目標達成は困難な状況です。
- ・海面養殖業生産額、水産物輸出額は目標を上回り、目標達成の見込みです。

1 基本指標の達成状況

基本指標							達成見込み	達成困難
【上段：目標値、中段：実績値、下段：実績値/目標値】							2	4
指標名	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	R1	R2	進捗状況	達成見込み
①海面漁業生産量	24万4千トン (H25年)	23万トン	22万3千トン	23万3千トン	24万トン	25万4千トン	順調	△
		28万6千トン	31万7千トン	29万1千トン	25万1千トン			
		124%	142%	125%	104%			
※千トン未満を四捨五入								
②海面漁業生産額	642億円 (H25年)	615億円	600億円	623億円	639億円	670億円	順調	△
		644億円	679億円	636億円	算定中			
		104%	113%	102%				
③海面養殖業生産額	279億円 (H25年)	304億円	310億円	316億円	323億円	330億円	順調	○
		325億円	378億円	360億円	算定中			
		108%	121%	114%				
④漁業就業者数	14,310人 (H25年)	—	—	12,660人	—	12,000人	やや遅れ	△
		—	—	11,762人	—			
		—	—	92%	—			
⑤食用加工品出荷額	360億円 (H25年)	367億円	374億円	381億円	388億円	400億円	やや遅れ	△
		377億円	361億円	377億円	算定中			
		102%	96%	98%				
⑥水産物輸出額（関係団体分）	11億円 (H26年度)	12億円	15億円	20億円	25億円	30億円	順調	○
		19億円	21億円	33億円	31億円			
		158%	140%	165%	124%			

①「海面漁業生産量」は、多獲性魚類のイワシ類、サバ類は増加していますが、沿岸漁業の漁獲量の減少などにより、目標達成は厳しい見込みです。

②「海面漁業生産額」は、生産量と同様にイワシ類、サバ類は大幅に増加したものの、アジ類やブリ類のほか単価の高い沿岸種の減少により、目標達成は厳しい見込みです。

③「海面養殖業生産額」は、マグロ養殖の生産拡大に加え、ブリ養殖や貝類養殖が増加に転じ、真珠養殖も回復基調を維持していることにより、目標達成の見込みです。

④「漁業就業者数」は、新規漁業就業者は増加しているものの高齢（60歳以上）漁業者の減少が非常に大きく、目標の92%にとどまったことにより、目標達成は厳しい見込みです。

⑤「食用加工品出荷額」は、加工原料となる魚種の本県水揚げが低調であったことなどにより、目標達成は厳しい見込みです。

⑥「水産物輸出額」は、年間を通じて本県産水産物の認知度向上を図り、併せて新規輸出ルートの開拓などに取り組んだことにより、目標達成の見込みです。

2 基本目標(1)の達成状況

(1)基本目標：収益性の高い魅力ある経営体の育成

【上段：目標値、中段：実績値、下段：実績値／目標値】

達成見込み	達成困難
4	1

基本目標	事業群	指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み
収益性の高い魅力ある経営体の育成	経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化	①漁業所得300万円以上に達した経営体数	594経営体 (H25年)	—	—	711経営体	—	790経営体	遅れ	△
			—	—	586経営体	—	—			
			—	—	82%	—	—			
		②経営改善に向けた取組により、経営改善・強化を図った漁業者数(経営改善計画策定数)(累計)	—	25件 (25件)	59件 (34件)	93件 (34件)	127件 (34件)	161件 (34件)	達成	○
			—	27件	62件	140件	217件			
			—	108%	105%	150%	171%			
	漁業養殖業の収益性向上	③コスト削減、高品質化、経営多角化により収益向上を図った経営体数(累計)	22経営体/年 (H26年度)	38経営体 (38)	76経営体 (38)	114経営体 (38)	152経営体 (38)	190経営体 (38)	達成	○
			—	70経営体	112経営体	149経営体	214経営体			
			—	184%	147%	130%	140%			
		④マグロ養殖の生産量	3,070トン (H25年)	—	—	—	—	3,500トン	達成	○
			—	4,414トン	6,558トン	6,502トン	7,188トン			
			—	—	—	—	—			
しごと創出のための雇用型漁業の育成	⑤雇用確保、雇用条件等処遇改善を実施した経営体数(累計)	—	7経営体 (7)	14経営体 (7)	21経営体 (7)	28経営体 (7)	35経営体 (7)	順調	○	
		—	7経営体	17経営体	25経営体	32経営体				
		—	100%	121%	119%	114%				
		—	—	—	—	—				

①「漁業所得300万円以上に達した経営体数」は、所得向上対策関連事業の実施により優良経営体の育成が進み、所得300万円以上の経営体の全体に占める割合は増加するなど、一定の効果があつたものの主要魚種の不漁などにより、目標達成は厳しい見込みです。

②「経営改善に向けた取組により経営改善・強化を図った漁業者数」は、関係機関が連携して指導・支援体制を整備し、個別経営指導を各地で実施したことにより、目標を達成しました。

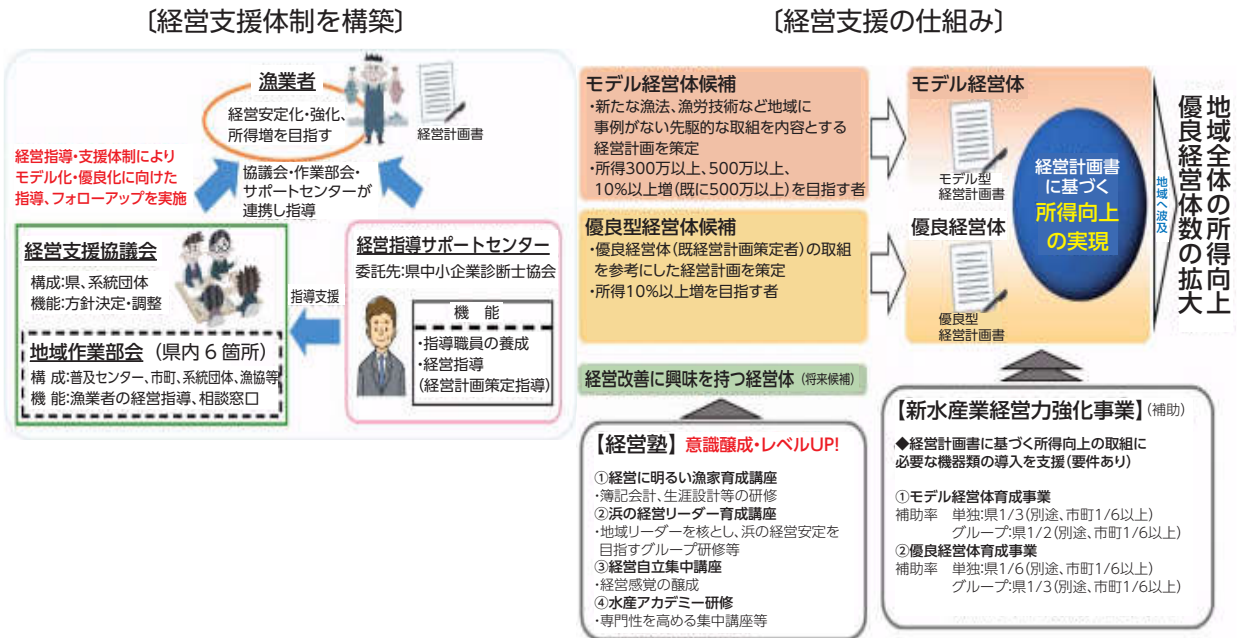
③「コスト削減、高品質化、経営多角化により収益向上を図った経営体数」は、養殖産地育成計画*の実践や販路拡大、コスト削減、高品質化等による収益向上等を図ったことにより、目標を達成しました。

④「マグロ養殖の生産量」は、マグロ養殖の生産拡大(出荷サイズの増加、人工種苗による増)により、目標を達成しました。

⑤「雇用確保、雇用条件等処遇改善を実施した経営体数」は、関連事業等を積極的に活用し、生産設備の導入や販路拡大等による経営改善、雇用拡大等への支援を行ったことにより、目標達成の見込みです。

成果トピックス：漁業者への経営支援体制の構築

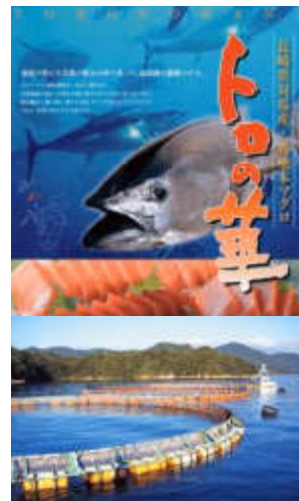
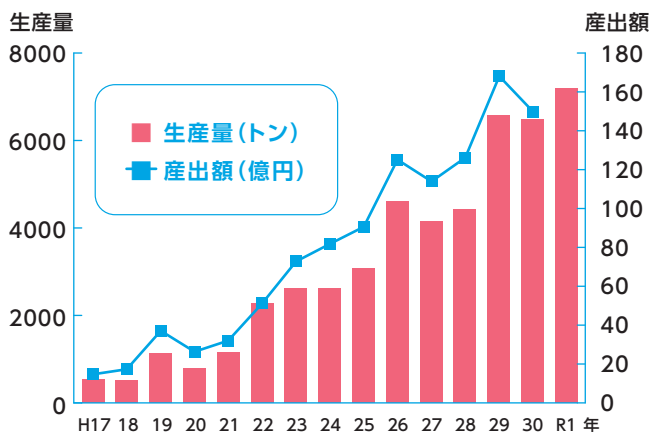
- 漁業所得向上に向けた経営強化や新たな事業展開を目指す漁業者に対して、関係機関が連携して経営指導・支援を行う体制を構築し、令和元年までに217件（国の関連事業を含めると514件）の経営計画を策定し、所得向上に向けた支援を行いました。



成果トピックス：養殖マグロの振興

- 長崎県の養殖マグロ生産量は日本一です。生産者や漁協、県、市が一体となりマグロ養殖を振興してきた結果、その生産量は右肩あがりで増加してきました。
- 量だけではなく、高品質のマグロを安定して出荷するため、取り上げ時の身焼け対策のための電気ショッカー導入や、魚体の大型化のための薄飼用生簀整備等の支援を実施してきました。

長崎県産養殖マグロの生産量
・産出額の推移



2 基本目標(2)の達成状況

(2)基本目標：浜・地域の魅力を活かした水産業の活性化と就業者確保

基本目標	事業群	指標名	基準値 (基準年)	【上段：目標値、中段：実績値、下段：実績値/目標値】					達成見込み	達成困難
				H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	4	2
浜・地域の魅力を活かした水産業の活性化と就業者確保	「浜の活力再生プラン」の作成と具体化の推進などによる浜と地域の活性化	①漁業所得（1経営体平均）	2,239千円 (H25年)	2,429千円	2,492千円	2,555千円	—	—	やや遅れ	△
				2,531千円	2,688千円	2,382千円	—	—		
				104%	108%	93%	—	—		
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み
		②漁協連携等に取り組む地区数（累計）	3地区 (H26年度)	5地区	7地区	9地区	10地区	11地区	順調	○
				19地区	20地区	22地区	24地区			
	800%			425%	317%	300%				
	指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み	
	③他産業と連携した新たな取組導入件数（累計）	—	5件 (5)	10件 (5)	15件 (5)	21件 (6)	26件 (5)	順調	○	
			3件	7件	14件	23件				
			60%	70%	93%	109%				
	水産経営支援ときめ細かな離職防止	④65歳未満漁業就業者の5年間における離職率	10% (H25年)	—	—	—	—	5%以下	遅れ	△
				—	—	11%	—			
				—	—	—	—			
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み
⑤漁業共済加入率		56.0% (H26年)	59%	62%	65%	68%	70.0%	順調	○	
			66%	78%	76%	77%				
	112%		126%	117%	113%					
指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
漁村地域の魅力発信による幅広い年代にわたる漁業就業者の呼び込み	⑥新規漁業就業者数	136人/年度 (H26年度)	180人 (180)	180人 (360)	180人 (540)	180人 (720)	180人 (900)	順調	○	
			175人	165人	183人	187人				
			97%	91%	101%	103%				

①「漁業所得」は、1経営体平均漁業所得は基準年から6%向上しましたが、燃油価格の上昇による漁業経費の増加などの要因により、目標達成は厳しい見込みです。

②「漁協連携等に取り組む地区数」は、漁協合併に向けて協議を行っている地区等が、当初の目標を上回る地区数となり、漁協の合併も行なわれたことにより、目標達成の見込みです。

③「他産業と連携し新たな取組導入件数」は、観光と連携した体験漁業などにより、目標達成の見込みです。

④「65歳未満漁業就業者の5年間における離職者数」は、漁業者の高齢化と就業者全体の減少により離職率が上昇しており、目標の達成は厳しい見込みです。

⑤「漁業共済加入率」は、養殖業者の加入が増加したことにより、目標達成の見込みです。

⑥「新規漁業就業者数」は、情報発信から就業、定着まで、段階に応じた切れ目ない支援制度による新規漁業就業者の確保・育成を図ったことにより、目標達成の見込みです。

成果トピックス：新規漁業就業者の増加

- 新規漁業就業者は、情報発信・呼び込みから技術習得、就業まで切れ目のない支援を行い、直近5ヶ年平均で175名を確保しました。移住者（Uターン）が増加傾向にある一方で、漁家子弟の割合は低迷しました。
- 独立直後の不安定な経営を支え定着を促進するため、就業後3年以内の漁業者を対象に技術向上や漁業種類の転換・多角化を目指した研修も実施しました。

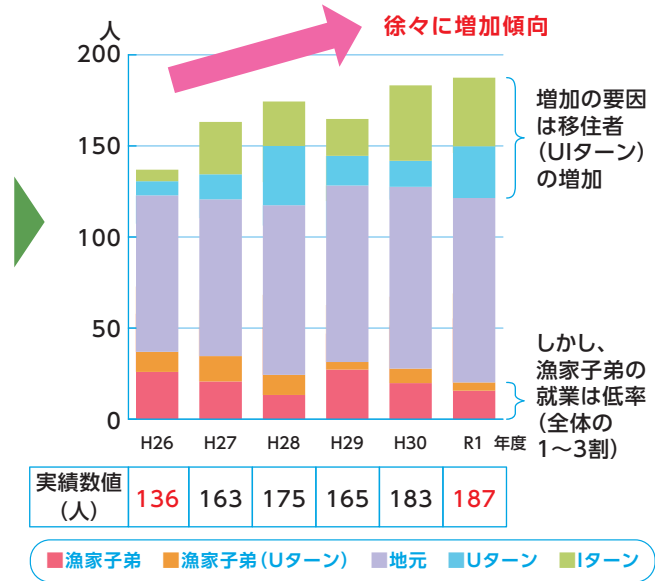
〔技術研修制度の充実〕

- 就業前の技術習得研修事業（H17～）
 - ・ 1～3年間の研修中の生活費、指導謝金等を支援
 - (1) 経営者育成コース
(独立経営を目指す実践研修)
 - (2) 従業者育成コース
(雇用型漁業従事を目指す実践研修)
 - (3) 漁家子弟コース※R1 新設
(親族の元で就業を目指す実践研修)



写真：先輩漁業者による定着支援研修の様子

新規漁業就業者数の推移（県調べ）



2 基本目標(3)の達成状況

(3)国内外での販路拡大と価格向上

【上段：目標値、中段：実績値、下段：実績値／目標値】

達成見込み 6
達成困難 0

基本目標	事業群	指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
国内外での 販路拡大と 価格向上	地域内流通の強化と 魚食普及の推進	長崎県の魚愛用店の認定店舗数（累計）※ H30まで	121店舗 (H26年度)	160店舗 191店舗 119%	170店舗 203店舗 119%	180店舗 215店舗 119%	—	—	—	達成見込み		
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
		①長崎県の魚愛用店の利用率 ※ R元から	17.5% (H29年)	—	17.5%	23.9%	25.3%	24.6%	29.1%	97%	やや遅れ	○
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
		②地域内デリバリー配達先数（累計）	8箇所 (H26年度)	20箇所 (10) 28箇所 140%	30箇所 (10) 44箇所 146%	40箇所 (10) — —	50箇所 (10) — —	60箇所 (10) — —	達成	達成	○	
		※ H28年で事業を終了したため、H29年までの実績値を記載。										
	大消費地のニーズ等 に応じた商品づくり と付加価値の向上	指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
		③大消費地において新たに取引を開始した商品数（累計）	—	10商品 (10) 20商品 200%	20商品 (10) 45商品 225%	30商品 (10) 72商品 240%	40商品 (10) 96商品 240%	50商品 (10)	達成	達成	○	
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
	海外で評価される魚 づくり	④海外ニーズを踏まえた製品開発（養殖魚）を行い輸出につながった件数（累計）	—	1件 (1) 100%	4件 (3) 100%	7件 (3) 100%	11件 (4) 100%	15件 (4)	順調	順調	○	
		指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
		⑤水産物輸出額（関係団体分）	11億円 (H26年度)	12億円 19億円 158%	15億円 21億円 140%	20億円 33億円 165%	25億円 31億円 124%	30億円	順調	順調	○	
	輸出拡大に資する流通・ 輸送体制の構築	指標名	基準値 (基準年)	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み		
		⑥ HACCP等認定加工場数（累計）	5件 (H26年度)	6件 (1) 0%	7件 (1) 50%	8件 (1) 66%	10件 (2) 80%	12件 (2)	やや遅れ	やや遅れ	○	
		高度衛生管理やコスト削減に対応した流通体制の構築	—	6件 (1) 0%	7件 (1) 50%	8件 (1) 66%	10件 (2) 80%	12件 (2)	やや遅れ	やや遅れ	○	

①「長崎県の魚愛用店*の利用率」は、県産魚を積極的に活用したメニューの提供や長崎県の魚愛用店の認定店舗の増加及びPR活動により、目標達成の見込みです。

②「地域内デリバリー配達先数」は、島内で漁獲された魚を島内で流通させるために実施する離島における地域内デリバリーシステムの構築により、H29年度に目標を達成しました。
(当該助成事業はH28年度をもって終了)。

③「大消費地において新たに取引を開始した商品数」は、水産バイヤー等と産地が連携した取組に支援を行い、県産水産物の販売力強化を図ったことにより、目標を達成しました。

④「海外ニーズを踏まえた製品開発（養殖魚）を行い輸出につながった件数」は、中国向け養殖マグロや養殖ブリ、米国向け養殖ブリや養殖マアジ、韓国向け養殖ブリ等が輸出に繋がったことにより、目標達成の見込みです。

⑤「水産物輸出額」は、年間を通じて本県産水産物の認知度向上を図り、併せて新規輸出ルートの開拓などに取り組んだことにより、目標達成の見込みです。

⑥「HACCP等認定加工場数」は、HACCP認証の取得が進んだことにより、目標達成の見込みです。

成果トピックス：県産水産物の輸出拡大

- ▶ 本県水産物の輸出は、中国、韓国のほか、新たな輸出ルートとして米国やタイ、香港、シンガポール、マレーシアなどに広がりました。
- ▶ 現地での展示会等への出展など、年間を通じて本県産水産物の認知度向上を図り、併せて新規輸出ルートの開拓を行いました。
- ▶ 長崎産養殖マグロ、ブリなど鮮魚は、上海や北京など約110都市に広く流通し、高級日本料理店や百貨店を含む1,700店舗以上で取り扱われました。

〔県産水産物の主な輸出ルート〕



〔中国への鮮魚輸出の拡大〕



青島博覧会



上海展示会

2 基本目標(4)の達成状況

(4)基本目標：漁業生産を支える豊かな漁場・安全で快適な漁村の環境整備

基本目標	事業群	指標名	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	R 1	R 2	達成見込み	達成困難	
									3	0	
【上段：目標値、中段：実績値、下段：実績値／目標値】											
漁業生産を支える豊かな漁場・安全で快適な漁村の環境整備	資源管理の推進	①検証・改善に取り組む資源管理計画数(累計) ※括弧内は、地域特産魚種に関する計画数	—	6件 (0件)	27件 (15件)	43件 (22件)	186件 (28件)	189件 (31件)	進捗状況	達成見込み	
				6件 (0件)	28件 (15件)	43件 (22件)	203件 (29件)				
				100%	103%	100%	109%				
	「藻場回復ビジョン(仮称)」に基づく総合的な藻場回復など漁場づくりの推進	②漁場整備面積(累計)	—	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み
					662km ² (20)	682km ² (20)	702km ² (20)	722km ² (20)	742km ² (20)		
					622km ² (H26年度)	676km ²	695km ²	711km ²	739km ²		
					135%	121%	111%	117%			
					順調	○					
					○						
	漁港整備や浜の環境整備の推進	③浮棧橋、防風施設、防暑施設等の整備を行う漁港数(累計)	—	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	R 1	R 2	進捗状況	達成見込み
					38漁港 (5)	43漁港 (5)	48漁港 (5)	54漁港 (6)	60漁港 (6)		
					28漁港 (H26年度)	40漁港	45漁港	49漁港	54漁港		
120%					113%	105%	100%				
順調					○						
○											

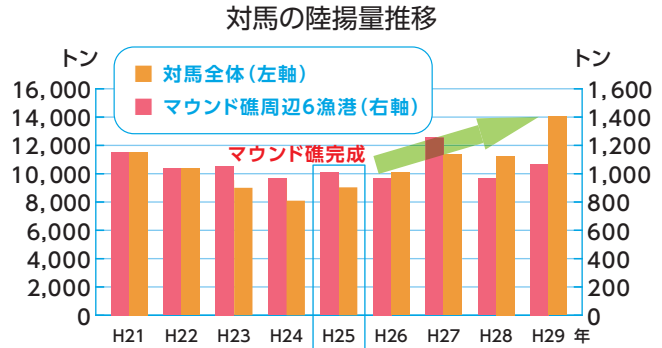
①「検証・改善に取り組む資源管理計画数」は、資源管理計画*及び地域特産種の評価・検証や、各計画の更新時に合わせて現地調査の実施や研究機関等からのアドバイスによる改善等の取り組みにより、目標を達成しました。

②「漁場整備面積」は、沿岸から沖合まで水産資源を育む漁場づくりとして魚礁や増殖場等の整備が順調に進んでいることから、目標達成の見込みです。

③「浮棧橋*、防風施設、防暑施設等の整備を行う漁港数」は、浮棧橋や防風柵等の重点的な整備により、目標達成の見込みです。

成果トピックス：海域の生産力向上

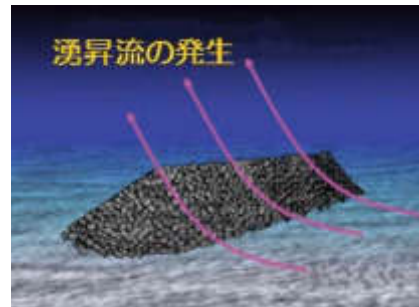
- ▶ 対馬南西海域において、マウンド礁を整備したところイサキやヒラマサなどの好漁場が形成され、周辺6漁港の水揚量が増加しました。



○対馬全体は横ばい傾向の中、マウンド礁周辺6漁港の陸揚量は1.5倍に増加



○マウンド礁に蟻集するメダイの群れ



○マウンド礁のイメージ

成果トピックス：安全で働きやすい漁港整備

- ▶ 安全で働きやすい作業環境を提供するために、高齢者や女性、新規就業者が安心して働ける環境づくり、災害に強い漁業地域づくりに取り組みました。



整備前

潮位差により非効率的かつ危険



整備後

安全安心な作業環境の提供



水揚げ作業の効率化

- ▶ 阿翁浦漁港（松浦市）では、水面から岸壁までの高低差が3mあり、係船時の綱とり作業や水揚げ・準備作業が重労働となっていました。浮棧橋等を整備したことで、これらの漁業活動は楽に安心してできるようになり、各作業時間が短縮されました。



カサゴの種苗放流